

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2022年 5月10日 18:30~19:15

場所：新橋駅前ビル1号館6階605号ダ・ヴィンチ大会議室+Zoom ミーティング

出席者：荒嶋、安藤、飯島、加藤、北川、才藤、坂口、庄野、鈴木、吉田

Zoom 出席者：石原、尾山、黒岩、小板橋、高木、三輪

監事：小川（Zoom）最川（Zoom）

顧問：児玉（Zoom）、関根、平松（Zoom）

（敬称略）

庄野理事の進行により新橋の会議場と Zoom ミーティングの併用によるハイブリッド会議を実施、参加人数が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長の挨拶から会議を開催した。会長より、初のハイブリッド会議開催と知床観光船の事故に関して触れた挨拶があり、議事録作成に加藤理事、議事録署名人に荒嶋理事を指名し、会議を開催し下記議案等を審議報告した。

<審議事項>

1. JSAF 主催者保険（継続審議）

飯島会長より、主催者保険の今年度予算として25万円を計上、例年の支払いは22~24万円、2021年は合計4レース分（湘南レース3レース、小網代カップレース）22万7189円を支払った。費用は、前年度分の外洋系団体の対象レースの総参加艇数で按分するために、予算策定時には正確な金額の算出ができず、予算としては多めの25万円を計上している旨説明があった。

継続審議の小網代フリートレースを保険対象とするかに関しては、デイレースのため、ここ数年は保険の対象レースとしていないことと、5月の初島レースは例年は夜間開催だが、今年は諸事情で昼開催に変更になった旨説明があった。さらに、関根顧問より5月の初島レースだけは例年加入しており、去年は開催されなかったために記録に残っていないとの補足があった。

庄野理事、才藤理事より、島回りレースは不測の事態に際に費用がかかることが考えられるため、保険の対象とすべきとの提案があり、関根顧問より例年の加入料金は1日あたり1艇600円程度の費用ということと、今年度の保険対象レースの報告に初島レースの記載をすることの提案があった。また、保険対象レースの記録を残すため、レースを実施しない場合でもJSAFへの報告にはレース参加艇0艇で報告する提案がされた。

飯島会長より、KFRの初島レースは例年保険に加入していることもあり、今年度も継続して加入することが提案され、上記報告に関する事とともに承認された。

KFRの主催者保険への加入については、KFRレース委員会で費用も含め、引き続き審議を行うことが報告された。

2. 石廊崎レース・トランスサガミヨットレース共同主催の件（本日時点で依頼書未着）

才藤理事より、リビエラとの会議の際に、両レースとも開催予定との報告があり、日程は8月6日に石廊崎レース、8月7日にトランスサガミレースを実施し、前夜祭は開催せず、表彰式をリビエラ青山で開催する予定との報告があった。リビエラより共同主催依頼書が未着のため、主催依頼書が来た時点で応諾することが提案され、承認された。

3. その他

- ・相模湾オープン開催について、平松理事よりシーボニアヨットクラブ主催で海の日に開催する予定であることが報告された。
- ・外洋三崎と共同開催の話があったショートハンドチャレンジ 1・2・3 の件について、飯島会長より外洋三崎の近藤会長代行より連絡があり、延期の申し出を受け承知したと報告があった。今後は、外洋三崎からの今後の意向を受けた後に、荒嶋レース委員長と飯島会長が、外洋三崎の近藤会長代行、木原レース委員長と調整することが報告された。

<報告事項>

1. 基金運営委員 2 名の選出報告

小坂橋理事より、基金規約により飯島会長と関根顧問が退任され、基金運営委員定数 7 名のうち 2 名が不足したことを受け、新たに小坂橋基金会長の選出により五十嵐理事と石原理事が基金運営委員として就任することが報告された。

庄野理事より、今後、基金により、「みさきヨット」をはじめ、安全のためにどう基金を有効活用するか運営委員会での検討が依頼がされた。

2. 次回理事会までのレースイベント

審議事項 3.その他で確認済み。

3. 4 月開催のジャッジ講習会報告

三輪理事より、三浦 OSC のジャッジのレベルを上げるため、レースが中止により 2 月 20 日に実施できなかったジャッジ講習会を、4 月 10 日の湘南レースで、海上トレーニング 4 名、本部船に 4 名の計 8 名で開催した報告があった。

海上トレーニングでは、ジャッジの際のボートのポジショニングや、風が落ちた際の引き波のコントロール、リコー艇への対応などを実施し、帰港後には、審問時の書類、手順、判決書の書き方をマニュアルに沿って講習を行い、質疑応答などを含め、夕方 5 時まで講習した。

今後ルール委員会としては、疑似審問などでジャッジのレベル向上を目指す勉強会などを引き続き検討していくことになった。

4. 三浦 OSC 会費口、みさきヨット 両口座の代表者名義切替について

飯島会長より 4 月 19 日に「三浦 OSC 会費口」「みさきヨット」の両口座の名義を庄野理事立ち会いの元、三井住友銀行で庄野前会長から飯島現会長への名義に切り替えた。通帳は坂口事務局長の元へ送付され、銀行印と通帳は別々に保管されていると報告があった。

5. アニオールズカップ 2022

坂口事務局長より 3 年ぶりに開催された「アニオールズカップ」の報告があった。学生側から礼状が届き今年度は加盟 9 大学のうち、部員不足の合同チームと神戸大学 OB チームも参加して計 8 チームが参加して、J/24 で行われた。結果は 1 位神戸大学 OB チームで、現役でも神戸大学が優勝した。MOSC から例年 2 万 5 千円を協力金として提供、来年もまた協力していく予定であると報告があった。

6. ショートハンドチャレンジ 1・2・3 開催延期について
審議事項 3.その他で報告済み。

7. その他

鈴木理事より「第 4 回こぶりっこミーティング」が 4 月 23 日に開催されたことが報告された。MOSC のレースではないが MOSC の理事の方々に運営の協力を頂いたとお礼を述べられた。参加艇は 19 艇であった。

以上で本日の議事をすべて終了し、19 時 15 分に理事会を閉会した。

以上

2022 年 月 日

議事録署名人